

## 第8章 香々地青少年の家

☎ 0978-54-2096

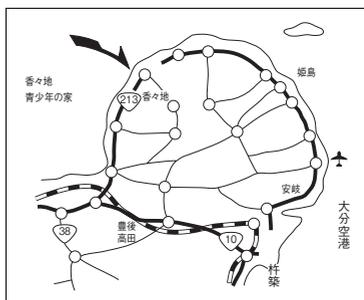
FAX 0978-54-2152

### 第1節 沿革

- 昭和48年3月31日 大分県立香々地少年自然の家設置
- 昭和48年8月18日 開所
- 昭和49年7月25日 キャンプ場開場
- 昭和56年11月20日 プレイグラウンド完成
- 昭和56年3月27日 プレイホール完成
- 昭和57年3月15日 研修棟完成
- 昭和57年4月28日 少年のシンボル像  
「砲丸」除幕
- 昭和59年4月16日 「少年の火」太陽から採火
- 昭和61年9月5日 別館宿泊棟完成
- 昭和63年3月31日 本館宿泊棟改築
- 昭和63年8月22日 炊飯棟2棟完成
- 平成2年3月31日 シャワー室・トイレ・倉庫改築
- 平成3年3月31日 キャンプ場整備完了  
(定員 200人)
- 平成4年3月18日 別館自転車庫増設  
(約40台分)
- 平成5年3月31日 プラネタリウム館新築
- 平成5年9月17日 プラネタリウム館周辺整備
- 平成6年12月26日 別館・プレイホール身障者用施設の整備
- 平成8年3月31日 アスレチック(遊びゾーン)完成
- 平成8年7月25日 マリンコミュニティーセンター完成
- 平成9年3月31日 アスレチック(健康づくりゾーン)完成
- 平成10年3月31日 アスレチック(冒険ゾーン)9年度分完成
- 平成10年6月30日 アスレチック(冒険ゾーン)10年度分完成
- 平成11年3月31日 キャンプ場にバンガロー5棟完成
- 平成12年3月15日 キャンプ場にバンガロー4棟完成
- 平成12年3月15日 給水設備設置工事(ボーリング、配管、受水槽設置)
- 平成13年3月14日 キャンプ場にバンガロー4棟完成  
(バンガロー整備完了 定員 160名)
- 平成15年3月14日 本館スロープ設置
- 平成17年4月1日 大分県立香々地青少年の家設置
- 平成20年3月13日 本館身障者用トイレ増設
- 平成21年3月 研修棟トイレ改修



香々地青少年の家



位置図

## 第2節 施 設

### 1 建 物

鉄筋コンクリート2階建（一部3階建）

敷地面積 123,972㎡ 建物面積 8,505㎡（宿泊人員 324人）

### 2 主な施設・設備

#### ① 屋内施設・設備

宿泊室・浴室・食堂・レクリエーション室・プレイホール・プラネタリウム館・リーダー室・視聴覚室・創作活動室・談話室・天体望遠鏡・双眼鏡・フィールドスコープ・OHP・ビデオデッキ 他

#### ② 屋外施設・設備

営火場・キャンプ場・屋外炊飯場・海水浴場・磯遊び場・自然の森・観察道・アスレチック・野外教室・スポーツ広場・OLコース・サイクリング車・イカダー式・釣り竿・遊歩道 他

### 3 利用できる人

- ① 小学校・中学校及び高等学校の児童生徒並びにその引率者
- ② 青少年団体
- ③ 社会教育関係団体
- ④ その他青少年の家を利用させることが適当と認められる者

### 4 申込み方法

- ① 利用日は香々地青少年の家に問い合わせて決める。
- ② 利用申込みは「利用許可申請書」「活動計画表」を提出すること。

### 5 入所者の負担する経費

- ① 食費（朝 340円・昼 460円・夕 650円）計3食 1,450円
- ② クリーニング代 190円
- ③ その他活動経費

## 第3節 平成20年度基本方針と事業内容

### 1 平成20年度基本方針

香々地の恵まれた自然と史跡・文化財などの地域の特色を生かし、自然体験活動・宿泊体験活動の機会を提供し、青少年の健全育成に寄与するとともに、広く県民を対象としたプログラムの充実に努める。

#### (1) 主催事業

- ① 青少年、青少年団体、家族等に対し、香々地の海・山の自然体験活動や宿

泊体験活動の機会を提供する。

- ② 青少年団体に対し、研修機会等を提供することにより、団体の育成と団体間の交流を図る。
  - ③ 悩みを抱える青少年を対象に体験活動を促進する。
  - ④ 成人を対象にした活動プログラムを充実し、学習機会を提供する。
  - ⑤ 地域に密着した生涯学習施設として、広く学習の場を提供する。
- (2) 受入事業
- ① 小・中学校、高校、大学、青少年団体、成人団体等に対し、集団宿泊研修に活用できる複合（海・山）型の特色を生かした活動プログラムを提供することにより、効率的かつ充実した活動の促進を図る。
  - ② 小・中学校、高校に対し、近隣の関係施設と連携し、「総合的な学習の時間」「セカンドスクール」等に活用できるプログラムの開発と提供を行い、利用の促進を図る。
  - ③ 県民に対し、海水浴場・アスレチック・プラネタリウム等の特色ある施設・設備を開放し、一日利用の促進を図る。
  - ④ 効果的な広報活動を行い、年間を通じて利用促進に努める。  
所報等の発行、関係機関、マスコミ関係等への広報活動を通して利用の促進を図る。
- (3) 職員の資質向上
- ① 人権研修等の職員研修の充実を図り、実践力を高めるなど資質の向上に努める。
  - ② 「あたたかく迎え、あたたかく接し、あたたかく送る」をモットーに、だれにでも親しまれる青少年の家づくりに努める。
- (4) 健康安全・防災体制
- ① 利用者の健康・安全に関する指導の徹底に努める。
  - ② 施設設備の安全管理に努めるとともに、非常時に備え全職員が的確な対応ができる体制を整える。
  - ③ 緊急医療体制や防災計画を整備し、利用者の安全確保に努める。

## 2 平成20年度事業内容

### (1) 主催事業

- ① 第1回「かかぢチャレンジキャンプ」 対 象：小学5年生～中学2年生  
～香々地の自然に挑む少年のつどい～  
期 日：8月7日(木)～11日(月)  
参加者：60名（4泊5日）  
第2回「かかぢチャレンジキャンプ」 対 象：8月参加者とその家族・友人  
期 日：10月19日(日)  
参加者：108名（1日）
- ② 『かかぢフェスタ in 青少年の家』 対 象：青少年及び家族・一般  
◎「初心者ディンギー教室」 期 日：5月24日(土)～25日(日)

- 参加者：33名  
期 日：5月25日(日)
- ◎「クルーザーレース大会」  
参加者：52名  
期 日：11月9日(日)
- ◎「交流活動・ステージ発表」  
参加者：986名
- ③ おおいたっ子心の交流推進事業  
「ふれあいキャンプ」  
対 象：不登校及び不登校傾向の  
児童生徒とその家族及び  
友人  
期 日：4～3月の間毎月1泊2  
日又は2泊3日 延べ12  
回開催  
参加者：延べ263名
- ④ 宿泊体験型科学教室「科学の不思議」  
対 象：中・高校生  
期 日：12月20日(土)～21日(日)  
参加者：26名
- ⑤ みんなのふれあい in かかち  
◎「かかちファミリーキャンプ」  
対 象：青少年及び家族・一般  
期 日：6月28日(土)～29日(日)  
参加者：75名
- ◎「科学教室」  
対 象：青少年及び家族・一般  
期 日：10月25日(土)～26日(日)  
参加者：35名
- ◎「幼稚園親子ふれあい in かかち」  
対 象：青少年及び家族・一般  
期 日：12月6日(土)～7日(日)  
※積雪による路面凍結のため中止  
期 日：2月28日(土)  
～3月1日(日)  
参加者：47名
- ⑥ 出前講座  
対 象：学校・公民館・各種国体  
の要請に応じて、職員  
の専門的な知識や技能を提  
供  
期 日：9月～2月 13回開催  
参加者：延べ427名

### 3 受入事業

#### (1) 学校利用

学校教育計画に基づく学校行事や授業として、小・中学校・高等学校（特別支援学校の小学部及び中学部高等部を含む。）の児童生徒及び大学・各種学校の学生を学校（教職員）が引率の上行う教育活動である。

青少年の家の特性を生かし、教育効果を高めるために、集団生活を通して、学校では得がたい、集団活動及び自然体験を行う。

(2) 青少年団体等利用

青少年団対等の教育活動に基づき、育成会及び団体指導者が引率の上行う教育活動である。

(3) 社会教育関係団体等利用

社会教育に関する事業を行う団体及びその指導者が体験活動や研修を行う。

## 第4節 利用状況

### 1 年度別利用状況（過去7年間）

